

エコツーリズムって何？

地元兵庫の日本遺産を廻ってエコツーリズムとの繋がりを考える

チーム名：HYO5JIN7

リーダー：小南和生、メンバー：小田定子、木村朱子、小山三智、
中通陽子、藤本豊、森本陽子

私たちのグループはエコツーリズムについての学習に取り組みました。学習を始めると、世界ではエコツーリズムの決まった定義がないという事がわかりました。日本でもエコツーリズムの定義にはさまざまな団体で色々な考えがありました。

一番じっくりきたのが、環境省のエコツーリズムの4つの考え方でした。エコツーリズムの①環境の保全②観光の振興③地域の振興④環境教育の場の活用の4つの基本理念を元にして活動を始めました。地域ぐるみで自然環境や歴史・文化など地域固有の魅力を観光客に伝えることによりその価値や大切さが理解され保全につながることを目指しています。

私たちがこのテーマに決めたもう一つの理由は、兵庫に暮らす人としてどの位、地元兵庫のことを知っているだろうかという疑問が湧いたからです。今回、兵庫県には日本遺産に認定された地域が全国(104件)で全国最多の9件あるということを知りました。兵庫県の日本遺産もエコツーリズムとの繋がりが見つけられるのではと考えました。

そして兵庫県内すべての日本遺産を回りながら、環境省の4つの理念でエコツーリズムを考えようと活動を開始しました。フィールドワークでは宿泊旅行も含め9ヶ所の日本遺産、兵庫の津ミュージアム、神戸市観光課と丹南市美山町、東近江市のエコツーリズムの全体構想認定地域2ヶ所を含め計13ヶ所訪問しました。結果、兵庫県、地元の自治体、地域住民をも巻き込んだの広報活動等々が必要だと感じました。

